



もしかしたら、入試に出るかも？

道標 ~みちしるべ~

松戸市立六実中学校
第3学年・進路通信
NO. 28
令和3年2月2日

~2月のスケジュール~

*清掃13:05~10 *帰りの会13:20~30 *下校15:15

日	パターン	午前の日課	時間	チーム SAWA	チーム NAKA
5日(金)	A	金1~4	13:40~ 15:10	今後の動きの説明(担任) 13:40~14:00 123組 国・数・英	45組 理・社
8日(月)	B	月1~4	13:40~ 15:10	出願指導(清掃・帰りの会なし) 13:10~13:30 作文・面接(集・個)・スピーチ・実技	
9日(火)	公立出願				
10日(水)	C	水1254	13:40~ 15:10	45組 理・社	123組 国・数・英
11日(木)	建国記念日				
12日(金)	A	金1~4	13:40~ 15:10	123組 国・数・英	45組 理・社
15日(月)	B	月1235	13:40~ 14:10	作文・面接(集・個)・スピーチ・実技 *職員会議のため30分程度	
16日(火)	C	木1236	13:40~ 15:10	45組 理・社	123組 国・数・英
17日(水)	A	学活 給食なし 8:45~9:30	9:40~ 11:10	123組 国・数・英	45組 理・社
18日(木)	B	学活 8:45~9:30	9:40~ 12:30	作文・面接(集・個)・スピーチ・実技	
19日(金)	C	金1~4	13:40~ 15:10	45組 理・社	123組 国・数・英
22日(月)	自宅待機日(必要な生徒は登校)				

~面接で話せそうな「最近のニュース&ちょっと聞いてほしい話 その1」~



・**食べられる食器の時代**：日本のプラスチック消費量は、世界第2位です。この事実を知って「コンビニ袋くらい、無料でくれよな!？」って言っていた自分を呪いたいこの頃です。そんな時代だからこそ、カフェのストローも「紙ストロー」になりつつあります。そして、ついに「食べられるストロー」が登場しました。このストローは飴でできており、最後はガリガリと食べられるのです。素材は「スローカロリーシュガー」といい、体内にゆっくりと吸収されながら血糖値を抑え、肥満予防にも効果があると言われ、注目されています。「食べられるお皿」など「食べられるシリーズ」に注目です。

・**アルカリイオン水で洗濯**：最近の洗濯業界注目目は「ミラブル」「ウルトラファインバブル」などの、きめの細かい霧で衣類の汚れを落とす製品が流行しています。シャワーヘッドにも応用され、油性マジックが水流で落ちるCMも有名です。そんな中、特殊な技術でなく、新しい洗濯方法が「アルカリイオン水洗濯」です。この水は健康にも良く、洗濯汚れにも効くのですが、高価でした。ですが、「wash+」というコインランドリーでは、自社でアルカリイオン水を作り、安く提供できるようになりました。今後は、アルカリイオン水洗濯機が流行るかもしれません。ちなみに、我が家では洗濯機に「マグネシウム」を入れて、同じ効果を狙って洗濯をしています。

・**おいしいめやす**：消費「期限」という言葉が食品ロスにつながっているとみられることから、消費者庁は、賞味期限の愛称を「おいしいめやす」にすると発表しました。賞味期限は、示された期限が切れた後でも直ちに食べられなくなるわけではないと、正しい意味を浸透させて食品ロスを減らすことが目的です。今後、浸透していくのでしょうか。



・**愛で背中を押す関係 ～小学3年生・男の友情～ 鴨頭嘉人**

ちょうど夏休みの頃、僕は丸の内線の改札を出て、駅の中を歩いていました。

小学3年生くらいの男の子が二人、ゲームの話をしながら僕の前を歩いていました。その様子が、この駅を歩く誰よりも楽しそうだったので、気になった僕は少し離れたところをさりげなく歩きながら、聞いていたんです。

まず、聞こえてきたのは「それで、例の件どうなった?」「いや、まだ…」でした。何の取引かと思ったら、その後の「なんだよ、早くゲットしろよ。ニンテンドー」という言葉で、大体の事情がわかりました。

おそらく、最新機種のカンテンドースイッチでしょうね。「買ってもらって、一緒に遊ぼうな」という、男と男の約束をしていたのに、片方の子はまだ買ってもらえていないようです。

「そうなんだけどさ…うち、ゲームとかダメって言うんだよ」と。

「なんだよ、諦めんのかよ」

「そう言うけどさ、俺んちとお前んちでは違うんだよ…環境が」。大人な会話ですね。



そして、それを聞いた男の子、なんと怒りだしました。

「**環境のせいにするなよ! そんなのはさ、情熱だろ。**俺だってすんなり買ってもらったわけじゃねえよ。何回も何回も言ったんだ」って。僕、さっきとは打って変わってハラハラして聞いていました。「この後どうなるんだ?」って。

「いいか、最初はお母さんなんだ。お母さんが味方になってくれたら、お父さんもいいって言うんだよ」。なかなか策士ですね。しかし、お友達の方はもう、ちょっと泣きかげになって「わかるけどさ、でもさ」というわけ。

それに返した言葉、僕は忘れられなかったです。

「**でもとか言うなよ。俺さ、他のやつと対戦とかもしてるけど、おまえとゲームやりたいんだよ。だから、お前が諦めたら終わりなんだよ。絶対諦めんなよ**」

するとお友達の方も「わかった。俺、ぜったい諦めない。ありがとう。**お前のおかげで頑張れる**」って聞いたのです。あまりにも胸が熱くなって、僕、後ろで泣いてしまいました。その上、声かけちゃったんです。「君たち、すごいなあ」って。当然、ものすごく身構えられました(笑)。「なんか、めちゃくちゃ泣いてるスキンヘッドの変なおじさんが声かけてきた…」と思ったでしょうね。でも、「絶対ゲーム買ってもらえよ」って言ったら、それで僕が会話を聞いていたと分かったんでしょう。二人して「はい!」って返事をして帰寮と歩いて行ったんです。



~~~~~  
この二人の会話にたくさんの教えが詰まっています。

まず、「欲しい」と思うことは何も悪いことではない、ということ。それを彼らはまず明確にしたわけです。

でも、「手に入れる」という夢に向けてスタートすると、いろんなことがあるわけです。小学生がアルバイトしてお金を稼ぐわけにもいかないし、ご両親もすんなりイエスとは言ってくれない。そんな現実にぶつかって「俺が悪いんじゃない、環境が悪い」と思いそうになったわけですね。

でも、「**環境のせいじゃない。情熱の問題だ**」「**俺はお前とゲームがしたい**」、そう言ってくれる友達がいた。その言葉で、彼は変わったんです。

たかがゲームと思うかもしれませんが。でも、いいじゃないですか、ゲーム。**素晴らしい夢**だと僕は思います。皆さんも夢の実現が難しい時、歳や性別、実績、性格のせいにしていませんか? そして家族や友人にそんな人がいますか?

もしそういう人がいたら、彼らのように**愛で背中を押してあげられるような関係**であってほしいと思います。